

(単元) 唐詩「黄鶴楼送孟浩然之広陵」

(本時のねらい)

これまでの漢文学習では、句形や表現を学び、文章の内容を考える力を身に付けてきた。しかし、風景や作者の心情を表現に即してイメージすることが苦手な生徒は多い。

この教材は、友への惜別の情が情景や色彩によく表れている。そこで、今まで学習してきた知識の上に立ち、限られた字数の中に含まれた作者の心情を理解しながら、五感で唐詩の世界を味わい、文学としての魅力に触れさせる契機とすることをねらいとする。

(ICT活用方法)

その詩に描かれた風景や、作者の心情、詩の世界観をイメージさせるために、スライドやBGMを用い、電子黒板に投影しながら詩を暗唱させる。従来は教科書や便覧に掲載されている写真を使用して説明していたが、それでは箇所単独のイメージとなり、一首としてのまとまりに欠ける。そこで、生徒の五感に訴えかけるため、BGMに乗せ、一首がつながるようスライドを電子黒板に投影するようにした。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法	備考
導入 5分	・本時の目標を確認する。	・目標を板書し、説明する。		
展開 40分	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">1 紙芝居を作成する</div> ・読み取った内容を基に口語訳を確認しながら作成する。	・作者の心情を、色彩や情景、口語訳から確認させる。	・口語訳を提示する。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">2 紙芝居を発表する</div> ・作者がこの詩にどのような心情を込め、どのような情景を描写しているかを発表する。	・他のグループの発表を聞き、自分のグループと、とらえ方がどう違うかを考えるように指示する。		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3 一斉に音読する</div> ・映像と音楽とを試聴し、イメージを膨らませながら読み、作品世	・映像と音楽とに注目し、紙芝居と重ね合わせ、作者の心情や情景をイメージしながら	・映像と音楽とを投影する。	

	界を味わう。	暗唱するように指示する。		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">4 自分の考えをまとめる</div> <ul style="list-style-type: none"> 紙芝居と映像を見てとらえた作者の心情をノートにまとめる。 映像や音楽の有無で感じ方がどう違うかをノートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 他のグループの発表や自分のグループの紙芝居、音読の映像から、作者の心情を自分で考え、文章で的確に表現させる。 		
まとめ 5分	・本時の学習内容を振り返る。	・次時への意識付けをさせる。		

(授業の様子)

<p style="text-align: center;">【口語訳】</p> <p style="text-align: center;">黄鶴楼で孟浩然が広陵に行くのを見送る</p> <p style="text-align: center;">李白</p> <p>我が友は、ここ西の地にある 黄鶴楼で別れを告げ、 春がすみに花咲きほこる三月、 揚州へと下って行かれる。</p> <p>(友の乗る)ただ一その遠ざかっていく 帆掛け舟の姿が、青空の中に消えて、 あとには、ただ長江が天の果てに向かつて 流れてゆくのが見えるだけである。</p>	<p style="text-align: center;">【書き下し文】</p> <p style="text-align: center;">黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る</p> <p style="text-align: center;">李白</p> <p>故人 西のかた 黄鶴楼を辞し 煙花 三月 揚州に 下る 孤帆の遠影 碧空に尽き 唯だ見る 長江の天際に流るるを</p>
--	---

投影した口語訳

(生徒の反応と課題，改善を要する点)

風景や詩情を効果的に感じてもらうためには、どのようなスライドが必要か悩むとともに、詩情を的確に伝えるBGMの選曲に苦労した。

どのくらい効果的に生徒に伝わったかを数値化することはできなかったが、生徒の感想には、「こういう気持ちで書かれたのかとイメージできた。」「この詩の中に出てくる『花』が、今まで自分が考えていたものと実は違うものだったので驚いた。」「作品を読むときは、このようにイメージを作っていければいいということが分かった。」などの意見が聞かれた。